

社会学科社会学専攻 2019年度カリキュラム 卒業必要単位:124

教育研究上の目的ならびに学位授与の方針	教育課程の編成方針	入学者受け入れ方針
<p>上記のような人材育成のために、社会学の専門的な講義科目を履修することによって、社会学の体系的なリテラシーを習得していること、演習・実習科目を履修することによって、自らの問題意識の発見と問題解決能力を体得していること、さらには卒業論文・演習レポートを執筆することによって、自らの問題意識に基づき、的確な問題設定を行い、その解答を導き出し、社会に対して発信できる表現力を身につけていること、以上によって所定の期間在学し、所定の単位を修めた学生に対して卒業を認定し、学士(社会学)の学位を授与する。</p> <p>(DP1) 建学の理念を実践する力[理解、関心、意欲、態度、主体性] 必修科目である「仏教と人間」を履修することにより、仏教の教えと禪の精神についての理解を深め、自分を高める自己形成と社会学という学問領域を密接に関連付けることができる駒澤大学の学生としてのアイデンティティを身に付けていること。</p> <p>(DP2) 幅広い教養、多様性の理解と尊重[知識、理解、関心、意欲、態度、主体性、多様性、協働性] 多様な教養科目、専門科目を履修することにより、豊かな感性と鋭い洞察力、幅広い教養を身につけ、国内外の多様な文化・価値観の違いを理解し、他者を尊重することができること。</p> <p>(DP3) 情報分析力と問題解決力[技能、思考力、判断力、表現力] 社会学におけるカリキュラムを十分に習得することにより、データ処理に関する情報リテラシーを体得し、また演習科目を履修することにより、主体的な問題意識と問題解決能力を体得していること。</p> <p>(DP4) コミュニケーション能力[技能、思考力、表現力、主体性、多様性、協働性] 他者と主体的に協働する能力と自らの考えを論理的かつ明確に伝えるプレゼンテーション能力と文章力を身につけていること。</p> <p>(DP5) 専門分野の知識・技能の活用力[知識、技能、思考力、判断力、表現力、主体性、多様性、協働性] 体系的に習得した社会学における専門知識や社会調査にかかわる技能・技術を、実際に直面する状況・課題に対して臨機応変に活用し、社会に発信・貢献できる能力を身につけていること。</p>	<p>ディプロマ・ポリシーに掲げた5つの能力の習得を目標に、社会学専攻の科目の系統は、1年次に履修する全学共通科目の入門・導入科目等を基礎とした上で、育成目標となる力によって大きく3つに分類され、それぞれにおいて基礎から応用・発展までの科目を学年ごとに配置している。教育課程の体系的性は、履修系統図とナンバリングによって示される。</p> <p>①人間と社会を把握する力を育成する(DP1とDP2)【CP1】 ②社会の実態を調査する力を育成する(DP3)【CP2】 ③問題を発見し、解決する力を育成する(DP4とDP5)【CP3】</p> <p>教育内容、教育方法、評価については下記に定める内容に従う。</p> <p>1. 教育内容 1)「人間と社会を把握する力を育成する」科目には、社会学の基礎を学ぶ科目(社会学概論、社会学原論など)と社会学の応用・発展としての各論に相当する科目、社会学の隣接領域(人類学、心理学、社会学、社会学政策論など)が含まれる。 2)「社会の実態を調査する力を育成する」科目は、社会調査や統計、情報処理などの科目である。 3)「問題を発見し、解決する力を育成する」科目は、社会参加実習や社会調査実習などのフィールドワークの実践、専門演習(ゼミ活動としてのフィールドワークの実践と卒業論文や演習レポートの執筆)が相当する。これら1～3の科目を基礎から応用まで学ぶことにより、社会学の体系的なリテラシーを習得し、自らの問題意識の発見と問題解決能力を体得することが可能となる。また、一般財団法人社会調査協会による「社会調査士」資格の取得も可能となる。</p> <p>2. 教育方法 1) 演習・実習科目においては、積極的にアクティブ・ラーニングを取り入れた教育を行っており、大人数の講義科目においても、リアクション・ペーパーなどの活用により、可能な限りアクティブ・ラーニングを取り入れて授業を行っている。 2) 社会学専門演習については、事前に募集説明会やゼミ公開を実施し、担当教員による選抜を行っている。1つのゼミあたりの上限定員を設けて特定のゼミに学生が集中しないように配慮し、少人数制の下、担当教員による手厚い指導を行っている。 3) 社会学専門演習においては、自らの関心に基づいた研究テーマにより、四年間の集大成としての卒業論文もしくは演習レポートの執筆を必須としている。なお、卒業論文もしくは演習レポートの指導における専門性を高めるために、専門演習ⅠからⅢへは持ち上がり基本としている。</p> <p>3. 評価 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)、入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、学生の入学時から卒業後の成長を見据えた教育を行うために、全学的に取り組みレベルの評価・測定(全学の該当部分を参照)と同時に、社会学専攻の教育課程レベルと科目レベルでも学習成果の評価・測定を行う。</p>	<p>社会学科社会学専攻では、現代社会に対して強い関心を持ち、社会に積極的に貢献したいと考える学生を求めている。一般入試では、①国語、②英語、③世界史、日本史、地理、政治・経済、数学のうち1科目、の3科目について学力試験を実施し、総合的に評価し、入学の受け入れを判断している。推薦入試では、提示された資料や問題に対する、あるいは身近な社会現象や社会問題に対する基礎的理解力、分析力、論理的思考力について、社会学を学ぶという意欲や社会に対する関心・洞察力について、そして高校時代の社会的な活動などを総合的に評価し、入学の受け入れを判断している。</p> <p>1. 社会学科社会学専攻の求める学生像 社会学科社会学専攻で求める学生像は以下の通りである。</p> <p>(AP1) 高等学校の基礎的な学力を身につけていること。特に「国語総合」、「英語」の基礎的な学力を身につけていること。</p> <p>(AP2) 本学が仏教の教えと禪の精神を建学の理念とする大学であることを理解し、社会学科社会学専攻で学んだ知識・経験を社会に出てから活用したいという意欲をもっていること。</p> <p>(AP3) 現代社会に強い関心があり、社会をより良くしていきたいという願いを持っており、広く社会に目を向け、幅広い知識を養おうとする態度を身につけていること。そして、現代社会における諸現象、問題についての様々な情報に基づき、自ら考察を行い、その結果を他者にわかりやすく説明する基本的な能力を身につけていること。</p> <p>(AP4) 多様な文化・価値観の相違を認識し、他者とのかわりあいの中で他者を尊重し、主体的に協働できるコミュニケーション能力と意欲を身につけていること。</p>

分野等	1年次前期		1年次後期		2年次前期		2年次後期		3年次前期		3年次後期		4年次前期		4年次後期	
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
専門教育科目:78単位 ■必修:32 ◆選択必修:10 ●選択:34																
理論	■社会学概論A(2)	2	■社会学概論B(2)	2	■社会学の歴史(2)	2	■社会学の理論(2)	2								
			■社会学基礎演習(2)	4												
方法論	◆外書講読演習(2)	2			●現代社会学理論研究(2)	2										
	■情報処理実習(4)	3	■社会調査A(2)	3	■統計学基礎演習A(2)	3	◆統計学基礎演習B(2)	3	◆社会調査実習(4)	3			3・4・5	3113083800		
各論	◆社会参加実習(2)	3・4	◆社会調査B(2)	3			◆質的調査法演習(2)	3	◆社会統計学演習(2)	3						
					◆文化社会学(2)	3111177101	◆産業と労働の社会学(2)	2	◆雇用と労働の社会学(2)	2						
				◆市民社会学(2)	2	3111079240										
				◆デジタル社会学(2)	3111149207											
				◆多文化社会学(2)	3111132650											
				◆ソーシャル・イノベーション論(2)	3111126640											
				◆ナノナリズム論(2)	3111157290											
				◆家族社会学(2)	3121022203											
				◆開発社会学(2)	3111020750			◆都市社会学(2)	3111154203							
				◆地域と村落の社会学(2)	3111134310											
				◆コミュニティ・ネットワーク論(2)	3111073408											
				◆異文化コミュニケーション論(2)	3111004901											
				◆マス・コミュニケーション概論(2)	3111186403											
				◆現代メディア論(2)	3111005040											
				◆現代文化論(2)	3111059650											
				◆現代家族論(2)	3111056670											
				◆ジェンダー・セクシュアリティ論(2)	3111103380											
				●国際社会学(2)	2	3111068310										
				●社会心理学(2)	3211083105											
				●社会運動論(2)	3111079295											
				●排除と包摂の社会学(2)	3111167350											
				●正義論(2)	3111116950											
				●グローバルバージョン論(2)												
				●平和学(2)	3111178650											
				●リスク社会学(2)	3111198250											
				●医療社会学(2)	3111005955											
				●社会学特論Ⅰ(2)	3111084290											
				●社会学特論Ⅱ(2)	3111084295											
				●政治社会学(4)	2	3511119800										
				●宗教文化論(2)	2	3111090003		●社会階層論(2)	2	3111079290						
				●犯罪と逸脱の社会学(2)	2	3111168312		●異文化コミュニケーション論(2)	2	31111004901						
				●教育社会学(4)	2											
				●福祉社会学(2)	2	3121084250		●歴史社会学(2)	2	3111084260						

